

令和元年度 学校運営等に関する評価書

学校名	和歌山市立大新小学校
作成日	令和 2 年 2 月 27日

1 教育目標

豊かな情操とまろやかな英知を育み、たくましく生きる子どもを育てる

2 学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	・県学習到達度調査における基礎の正答率について県平均を目指す。 ・児童アンケートの「私は毎日の勉強がわかる」の項目で「あまりそう思わない」0%	・児童アンケートの「私は学校が楽しい」の項目で「あまりそう思わない」0% ・保護者アンケートの「生命の大切さや社会のルールを守る態度の教育」で「そう思う」40%	・スポーツテストの「シャトルラン」の項目で県平均を上回る ・保健室が実施する元気大作戦(生活アンケート)で運動や体を動かす遊びの達成率90%	・保護者アンケートの「学校の様子を、わかりやすく伝えている。」の項目で「そう思う」40% ・地域や公民館などと連携した取組を、各学年1つ以上実施
意見重点目標に対する	・学習到達度調査等の結果から「自分の考えを文章にまとめる」能力が近年の課題であることから、授業や行事での対応は重点目標としてふさわしいものであると考えます。 ・勉強の理解度は、テストや提出した宿題の内容でも一定の把握が可能であると思われ、早期対応について目標を掲げることも必要ではないかと思われれます。	・「なかよし活動」は他学年の中で個が認められ、自尊感情の醸成や自らの役割や居場所を見いだす力の育成に大きな効果をもたらしていると考え、取り組みの継続とともに、充実を期待します。	・体を動かすきっかけとして、なかよし活動を活用していくことは有意義であり、「楽しさ」を感じるような仕掛けも取り入れて欲しい。 ・授業やアンケートを通じて、子どもたちだけでなく保護者に対しても健康的な生活を意識づけるような働きかけを継続していただきたい。	・学年だよりの発行について、現状、情報不足であるという認識はないが、一定以上の頻度が保たれるよう、目標に掲げてはどうか。 ・公民館との連携については、子どもたちにとっても地域の方と関わる有意義な機会であると思われ、有り難く感じている。
意見取組状況に対する	・理解度の把握や支援は、個別に丁寧な対応が必要であり、担任がその時間を確保できるような配慮や人的サポートの検討も必要である。 ・また、家庭との連絡、連携も密にし、学習習慣の定着にもつなげていただきたい。	・校区内の公園清掃や古切手や1円募金などの奉仕活動は豊かな心の育成にも繋がるものと考える。 ・人権に関わる取り組みは継続していただくとともに、特に保護者への働きかけは重要である。	・なかよし活動では年間を通じマラソンや長縄跳びなどグループ間で競いあうような仕掛けも取り入れ実施されたことは評価できる。 ・元気大作戦の取り組みは継続されているが、高学年になるにつれ、目標達成率が低く、子どもにも自身の推移を振り返る機会をもたせることも必要か考える。	・特に公民館活動との連携については、教室の開催だけでなく、児童の作品展示などでもご協力を頂いており、そのことを保護者や地域の方にもお知らせすることも重要である。 ・各種行事や学校開放月間などの機会を通じ、地域の方にも学校のことを知っていただくことも重要である。
に取組する適切さの検証結果	・学習到達度調査の対象学年だけで、判断はできないが、勉強の理解が進んでいない児童の割合が一定数いることは大きな課題である。児童数も多くないことから、各学年で定期的に確認するようなことも検討すべきではないか。 ・対象児童への学習支援は、担任により実施されている。	・児童がアンケートに必ずしも正確に答えていないということも考えられるが、先生方には、こどもの様子をよく観察し、気持ちに寄り添っていただきたいと考えてます。また、「楽しい」と感じない要因についても把握できるよう設問についても見直しが必要ではないでしょうか。	・スポーツテストの結果は概ね良好のようだが、なかよし活動や目標達成のための取り組み効果を検証するには、学年ごとの年次の検証も必要だと考えます。	・学校の様子をわかりやすく伝えることは難しいが、学校だよりや育誠会広報誌なども、公民館等へ掲示いただいたり、学校HPの更新やアドレスの広報なども工夫できる余地はあると思われれます。
改善年度法に方向性に対する意見	・宿題を確実に取り組むように指導することはもちろんであるが、学力向上タイムなどの従来の活動の見直しも行っていただきたい。 - また、学習習慣を定着させるための取り組みとして、放課後の一定時間を活用や児童による学びあいなど、新たな取り組みも検討してはどうかと考えます。	・道徳の授業以外でも様々な場面を通して、相手を認め、自分も相手も大切にする心の醸成に継続して努めていただきたい。 ・SNSに関わり方について、保護者とともに指導、啓発を行っていただきたい。	・1年を通じて、体を動かし、健康的な生活習慣を身につけるような働きかけを継続していただきたい。	・行事や学校の取り組みを発信していくことは重要である。発信先によりお知らせする情報や発信の仕方に工夫も必要となるが、まずは、こどもの様子を的確な把握に努めていただきたい。

3 その他のご意見

保護者の生活環境により、家庭学習のサポートが得られないといった課題もあるようだが、児童自身が学習も含めた規則正しい生活習慣を定着させ、自分のことはできるだけ自分で行うことを意識づける環境づくりは重要であると考えます。

また、保護者に対しても、家庭教育の重要性について、学校だよりや教育講演会の機会を通じ、その認識していただくような働きかけも継続していただきたい。